揺れる前に知る。
揺れる前にできること。

気象庁 緊急地震速報対応
エレベーター地震管制連動装置

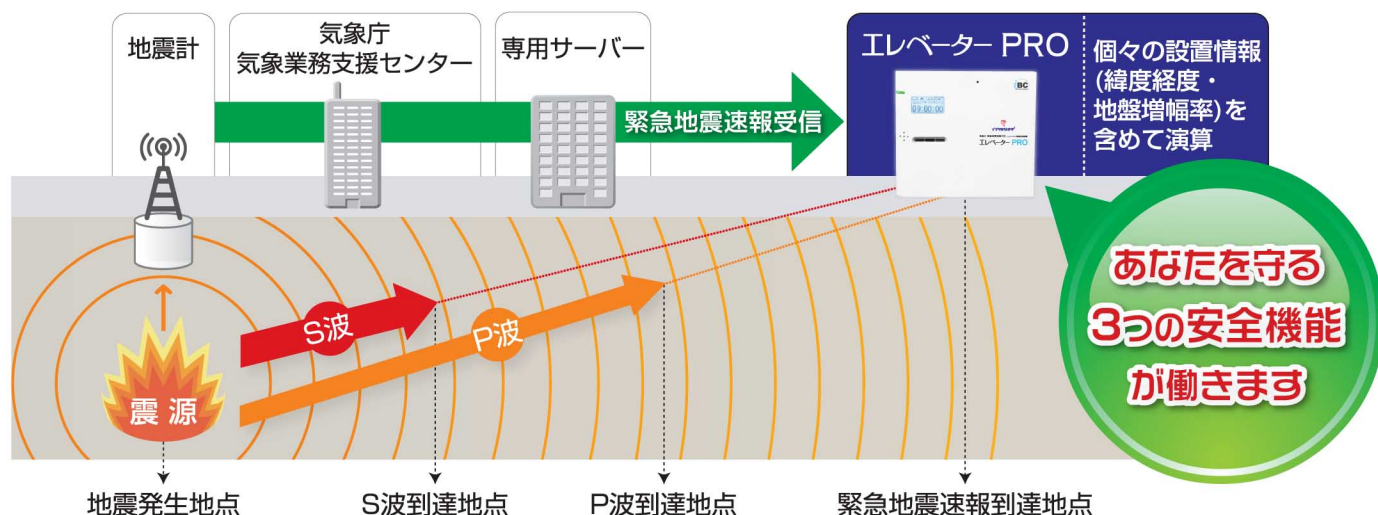
エレベーター PRO

地震が来る前に大切な人を守ります。

株式会社アイ・ブリッジ

エレベーター PROは、

気象庁 緊急地震速報をキャッチし、揺れる前に、エレベーターは安全に停止、同時に、音声アナウンスを実施します。

緊急地震速報の流れとエレベーター PRO の重要機能

エレベーター PRO はニーズの高い3つの安全機能を兼ね備えています

1 エレベーター地震管制連動

エレベーターの地震時管制運転に連動し、エレベーターは最寄階へ安全に緊急停止して扉が開きます。
同時に、かご内では「地震です。扉が開いたら降りてください。」等のアナウンスが流れます。

2 本体音声カウントダウン

本体スピーカーから、設置場所の予測震度と予測到達秒数をカウントダウンしながら発報します。
音声は「地震、震度X、○○秒後に揺れが来ます。ﾋﾞｰｯﾋﾞｰｯﾋﾞｰｯ…30…20…10,9,8,7,6,5,4,3,2,1,0」とアナウンスが流れます。

3 放送設備に連動

館内放送の放送設備に連動し、広範囲にアナウンスします。
オプション(別売)：24時間フルタイマー機能。音量調節機能、NHKチャイム音MIX機能、切替スイッチ機能、独自音声再生機能、無線子機機能。(用途別選択可)

緊急地震速報とは？

緊急地震速報は、地震により発生する**初期微動（P波）と主要動（S波）の伝播速度の差を利用**して、地震の発生直後に震源に近い地震計でとらえた観測データを解析して震源や地震の規模（マグニチュード）を直ちに推定し、これに基づいて**各地での主要動の到達時刻や震度を推定し、可能な限りすばやくお知らせする情報**です。

緊急地震速報の位置づけ

中央防災会議では、関係省庁連絡会議を設置して、気象庁が提供する緊急地震速報の利活用を推進しています。
これに伴い、気象業務法が2007年12月1日に一部改正され、**緊急地震速報は地震動の予報及び警報に位置づけられています。**

日本では、必ず大地震が発生します

地球の表面は10数枚のプレートで覆われていますが、日本周辺には、**4枚ものプレートが集中**し、1年間に3~8cm程度沈み込んでいるため、**定期的に巨大地震が発生**します。
また、日本の活断層は、現在知られているだけでも**約2000箇所**あるため、**大地震がいつどこで発生**しても不思議ではありません。

エレベーター PRO は、エレベーターが備えてある場所ならどこにでも設置できます。

オフィス、マンション、病院、介護施設、商業施設、ホテル、学校など。

設 置 例

業界初　本体の設定変更によりすべてのエレベーターに対応

全エレベーターメーカー対応

全エレベーターメーカー・全機種の仕様に合わせた本体の設定が可能。

複数台を連動可能

同様な仕様の複数台を本体ひとつで連動することにより、初期費用の低コストが実現。

従来型P波感知器とも併用可能

従来型P波感知器を併用することにより、有効エリア拡大とダブルセーフティが実現。

エレベーター自動復帰

地震時管制運転装置と連動し、揺れが小さい場合は、自動的に運転を再開。

エレベーター PROは業界トップクラス

業界トップクラスの配信速度

1サーバー限定接続のため、接続されたすべての端末へ0.25秒以内に高速発信を完了。

業界トップクラスの低コスト

本体の演算機能により、サーバー負荷の軽減、高速度、低ランニングコストを実現。

より高精度な情報

設置場所の緯度経度・地盤増幅率を含んだ予測震度と予測到達秒数を演算。

緊急地震速報機能はREIC認定済

・REIC認定の緊急地震速報機能。
（NPO法人 リアルタイム地震情報利用協議会）

・株式会社3Softジャパンの推奨品。

地震時管制運転装置

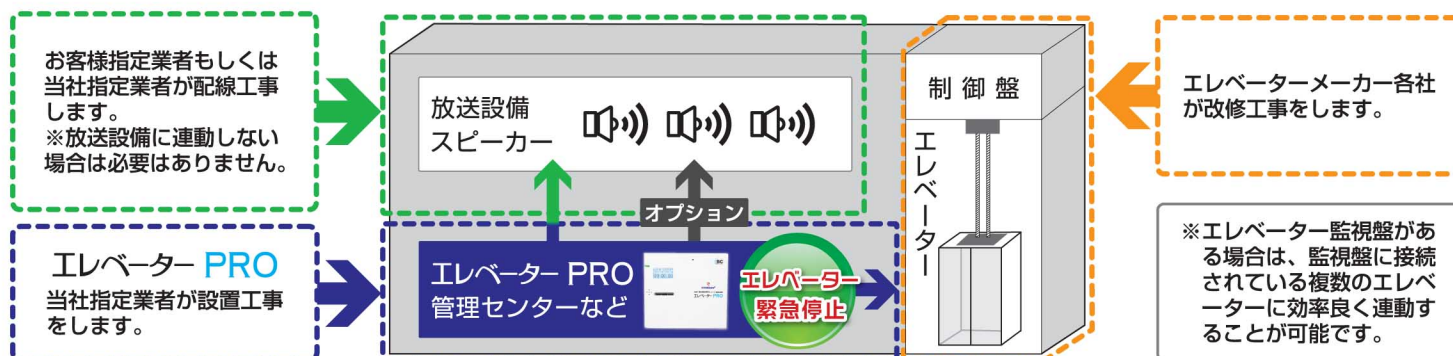
エレベーターメーカーの地震時管制運転装置は、地震の揺れを感知すると、最寄階に緊急停止して扉が開きます。同時に、かご内では「地震です。扉が開いたら降りてください。」等のアナウンスが流れます。地震による利用者の閉じ込めやエレベーター機器の損傷等を最小限に食い止めるための有効な装置です。揺れが小さい場合は自動的に運転を再開します。

エレベーター PRO の設置に必要な費用

■ 必要な費用 ※エレベーターに合わせた専用機器は必要ありません。

初期費用	エレベーターPRO本体
	本体設置工事費
	エレベーター改修工事費

放送設備	放送設備配線工事費
	※オプション購入費
維持費用	月額利用料

■工事区分

■ 年1回のメンテナンス (月額利用料に含まれます)

・停電時バックアップ電源のチェック(無料交換含む)
・テスト配信でテスターによる回路動作チェック

■ その他の本体機能

・通信状態遠隔監視機能	・初期設定遠隔操作機能
・時刻遠隔同期機能	・停電時バックアップ電源機能

エレベーター PRO の仕様

本体外形寸法	幅290mm 高さ260mm 奥行き60.5mm※設置金具除く	通信ポート	TCP-9001
重量	約3kg	ログ表示	過去4件 (震源地、端末発報内容)
電源電圧	AC 100V (50/60Hz) 2口	テスト発報機能	震度5弱-19秒後　固定
定格入力	DC12V-800mA / DC12V-1A	発報内容変更機能	詳細表現、または　あいまい表現　選択可能
消費電力	1W / 3.6W	警報レベル変更機能	震度1～7の間で任意設定可能(9段階)
温湿度条件	40℃(90%) RH以下　但し結露無き事	内蔵スピーカー出力	500mW
緊急地震速報受信方式	IPv4インターネット常時接続環境でのTCP/IP方式	外部接続　OUT	エレベーター用3ch可変、放送用1ch固定
		外部音声出力	RCA-MONO 800mV,-9dBm/600Ω不平衡

ご利用にあたっての注意事項

●緊急地震速報には、雷やハードウェア等の障害により誤報が発生する場合があります。●本装置は、地震の予知および災害の軽減を保障するものではありません。地震が起こった時に速やかに行動できるよう、十分に避難訓練等を行ってください。●地震の発生を気象庁が観測できなければ緊急地震速報は配信されません。その場合、本装置が緊急地震速報を発報しなくても、地震が発生する場合があります。●設置場所付近で直下型地震が起こった場合、初期微動から主要動が来るまでの時間差が短く緊急地震速報が間に合わないことがあります。また、従来型P波感知器より緊急地震速報が遅い場合があります。●本装置のトラブルや推定結果によって生じた損害については、一切の賠償責任を負いかねますので予めご了承ください。●配信側の設備に問題が生じて緊急地震速報が伝達されない場合、或は緊急地震速報の精度に起因する問題で発生した損害につきましては、一切の賠償責任を負いかねますので予めご了承ください。●利用を開始した月の月額利用料は無料です。利用を終了した月については全額有料です。●エレベーターおよびエレベーターPROのメンテナンス中や故障している場合、緊急地震速報があっても、動作いたしません。●エレベーターや放送設備以外に他の機器と連動させたい場合には、必ず当社にご相談下さい。●医療機器などの人命に直接かかわる用途には、ご使用を控えてください。●緊急地震速報を発報中に停電した場合でも、エレベーターPROはバックアップ電源に切り替わります。

保証について

●保証期間は設置完了後１年間。その期間内に発生した故障については無料で修理致します。●カタログ・取扱説明書などに記載された、当社が指定する使用条件および環境以外で使用した場合、お客様の故意または重大な過失により発生した場合、火災・地震・水害・落雷・その他天変地異により発生した場合など、当社の責任範囲外で発生した故障及び損傷につきましては、免責されるものとします。

製造販売元
株式会社 アイ・ブリッジ

東京都中央区京橋1-12-7 小林ビル2F
TEL. 03-5524-7761　FAX. 03-5524-7763
営業時間：午前9時～午後5時 土日・祝日・年末年始・ゴールデンウィークは休業とさせていただきます。
http://www.i-brdg.co.jp/

●記載内容は2008年2月現在のものです。
●仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。
●記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。
●カタログと実際の商品の色とは印刷物のため、多少異なる場合があります。

販売会社・お問い合わせ先